

令和4年度
事業報告(案)

社会福祉法人 白老宏友会
指定障がい福祉サービス 愛泉園
(生活介護事業)

1. 総 括

令和4年度も新型コロナウイルスの影響が大きな1年であった。各種行事や季節ごとのイベントでは感染防止に留意した実施を心がけ、利用者の社会性やストレス解消につながるような工夫を行う。中でも6月実施の個別外出企画は支援者と利用者が少数で企画実施の為、感染に留意しつつも利用者の希望を取り入れたオリジナルな行事にすることができ、利用者の満足度も高く次年度においても実施を検討したい。

尚、新型コロナウイルスの感染防止の為、希望者へのワクチン接種を実施してきたが、12月実施後に感染者が増大し、クラスターが発生したため約3週間の施設閉鎖や巡回等による支援活動を実施することとなりました。感染原因については、特定することはできませんでしたが、毎日の体温測定や体調確認をすり抜ける無症状の陽性者が存在し、そこから一気に拡大したと思われます。施設内にはマスクなどを着用できない重度者が多く、感染拡大を防止することは大変困難であると実感しております。幸いも重症化した方がいなかったことが、何よりの救いでもあります。

授産活動面では、アイヌ文様製品に関してウポポイでの売上げが前年増しの好調で過去最高の売上げ額となり、利用者への冬期手当などの還元その他、継続した活動の為、授産設備の更新（トラクター、ハウスのビニール張り替え等）や工賃積立金等の対応を行っております。

愛泉園老朽化における建て替え計画においては、資材等の高騰が続いており、現在の国庫補助金額では、自己資金が2億円前後となることから、日本海溝沖地震における津波対策を含め法人として有意義な建設に資する様、研鑽を継続していきます。建設のために購入した川沿の用地につきましては、建設までの期間は「カシス」の栽培を実施するとともに、一部をみらいえの活動に貸与し有意義な使用を行っていきます。

2. 各種活動報告

〈薬草加工作業・軽作業〉

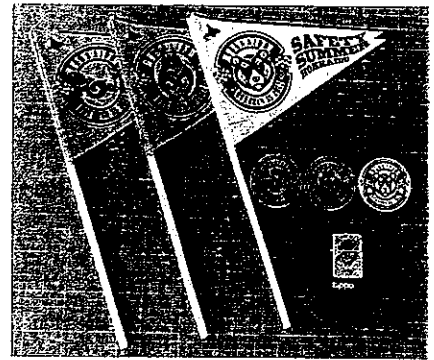
「よもぎのお風呂」については、総数約7,000個、総額446,085円（前年比120%）の売上げがありました。定期購入の個人売上げや大口取引先の宿泊施設への納品が継続されております。

委託業務である新聞たみの作業については、年間売上162,000円の工賃財源につながりましたが、今後作業量が大幅に縮小されるため、それに代わる作業として「しいたけの軸切り」を委託先よりご提案いただき試験体験を行った結果、利用者のペースで安定的に行うことができる軽作業として定着できそうである。2月・3月時点において78,251円の売上げがありました。

「文様事業」では、国立アイヌ民族博物館（ウポポイ）がオープン3年目を迎え、国内（道内）の新型コロナウイルスの動向に注視しつつ、徐々に来場者が増加した「ななかまどイレンカ」と「ポロトミントラ」への商品の供給や、製造調整を実施しながら利用者活動と工賃財源の確保に取り組んできました。主なところでは、ななかまどイレンカ単体の売上げは5,988,230円（前年比293%）、白老観光協会運営の「ポロトミントラ」では423,724円（前年比161%）の売上げとなっています。町内の宿泊施設等3か所に依頼して設置しているカプセルトイ（ガチャガチャ）の売上げが152,100円（前年比116%）を計上。札幌の広告代理店との共同開発により、全道展開しているガソリンスタンドのホクレンSSにて「ライダーに配るフラッグ」が好評につき、昨年同様web抽選により配布されています。生産活動全体の売上額は総額9,158,144円を計上しました。



【ななかまどイレンカでの委託販売】



【2年連続のホクレンSS用フラッグ】

〈療育活動〉

本人との関係性の構築や障がい特性への理解を深めることを優先し、健康面、保清に配慮して、快適な日中生活を送るための支援を行いました。創作活動では、季節ごとの飾り付けなど、楽しみながら本人の意欲を高めるよう努めました。敷地内をウォーキング、野菜や果物の収穫、室内でも運動ができるようにマシンを購入し個々の特性に応じた支援内容を提供して、活動的に過ごすための支援を行いました。状態が安定的でない利用者に対しては、心理的なサポートを心掛けて、家族やグループホームとの連携による情報の共有を図り助言や支援を行いました。また、季節に沿った行事や各種活動を行う中で、仲間達と喜びを共有してもらえるよう努めました。



【収穫祭】



【夏祭り】



【ひなまつり】

〈農耕作業〉

今年度は「シカ」による被害で枝豆が全滅するなどの影響が出ています。昨年アライグマによる害獣被害にあった「シャインマスカット」は今年度、ハウスへの侵入対策を強化し被害もなく沢山の実を付け利用者のおやつや、ご近所野菜市での販売につなげることができました。収穫された野菜や果樹は共生型事業所におけるご近所野菜市や「ななかまど」での販売を行い、539,930円の売上げがありました。一部は給食の食材として、また、行事等でも使用することで、利用者へ新鮮な野菜の提供を可能にし、さらに栽培から消費までを一貫して体験したことが、利用者の笑顔につながったことと思います。また、カシスの挿し木による作付面積を拡張し、近い将来愛泉園利用者の資産となるよう育てています。重度の利用者でも活動に参加できる農作業への研鑽を進めております。

(生産実績) 園内耕地 トマト、とうがらし、大根、ほうれん草、オクラ、小松菜、長ネギ、ニラ、じゃがいも、秋田フキ、行者ニンニク、かぶ、ナス、大葉、ミックスレタス、ピーマン、プラム、シャインマスカット、カシス、藍

〈給食作業〉

給食提供に係る補助業務を行うことで就労意識や本人の自己実現に向けた支援を行いました。仕事に関わることを継続することで本人の意識改革や自分が必要とされているという自尊心を大きく育てることに寄与できたものと思われる。

3. 作業工賃

活動内容や貢献度によって日額 150 円、200 円、300 円、500 円の工賃を支給し、25 名の利用者に対して総額 2,520,127 円（1 人平均年 100,805 円）を工賃として還元できました。

4. 職員研修

新型コロナの感染防止のため、外部への研修は中止し、ウェブを活用した研修を実施しております。しかし、愛泉園は光回線がないため十分な研修実施には至っていません。今後も本部の設備を活用しながら研修の充足を目指していきます。

(*愛泉園敷地内に設置された楽天モバイルの電波塔が、令和 5 年度中に稼働予定の為、オンライン環境が改善する見込み)

5. 余暇活動支援

新型コロナ感染防止を意識した内容の変更と工夫により各種余暇活動の充足を目指し、実施しました。主な取り組みは、月例行事として本人の誕生日にはお菓子を用意し、皆でお祝いを行いました。年間行事では、新年会、節分、バレンタインデー、ひな祭り、ハロウィンパーティなど季節的な催しの他に、夏にはミニ運動会的な「アイセンピック」を実施。日中活動においては「オリジナルキーホルダーづくり」など、日常生活とは異なった各種体験の機会を提供することで、心身のリフレッシュ効果を狙いつつ、思い出に残るような行事を行いました。

その他の屋内外の行事として、調理体験教室（菓子づくりなど）ゲーム的要素を取り入れた軽運動、近郊への日帰り外出、大画面による映画鑑賞会などを実施し、余暇支援を充実させた。



【夏季アイセンピック】



【ハロウィーン】



【オリジナルキーホルダー作り】

6. 自治会（ベストフレンズ）活動の支援

新年会や忘年会、誕生会などの司会進行などは利用者自治会が主体的に実施できるよう支援に勤めた。

7. 事故防止策および事故対応策

緊急時の連絡網として【LINE】での情報交換を日頃から活用し、緊急時に対応できるよう努めてきた。また、事故防止のためのヒアリハット案件を毎月探し出し、職員へ周知しながら事故防止への意識を高めるとともに、他事業所へも運営会議を通じて周知してきた。

8. なんでも相談（苦情解決）支援

本年度においては、なんでも相談受け窓口に寄せられたものはなかったが、ご家族より支援に対する要望や相談はあり都度話し合いを実施し利用者支援に生かしております。

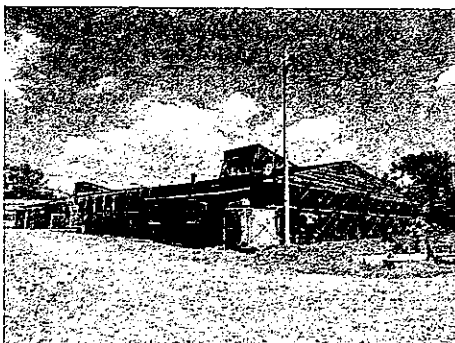
9. 保健医療支援

健康診断を行い、利用者の健康管理、維持に係る支援を行なった。また、毎日のバイタルチェックや表情などの観察をして、異変があればグループホームや家庭へ連絡をして必要な対応を行い、事業所での様子などケース会議等で情報の共有化を図った。インフルエンザ予防接種の実施、新型コロナウイルス予防接種の3度実施、感染防止強化による手指の消毒、加湿、換気、空気清浄などを重点的に実施した。また、園内の手すりやドアノブの消毒、公用車内の消毒を習慣化し、感染症予防を行った。てんかん発作を有する利用者については、発作の記録票をもとに家族へ報告を行い、医療対応の参考となるように配慮を行っております。

尚、12月に発生した新型コロナウイルスの集団感染においては、感染経路は不明ですが、毎日の検温等に異常がなかったことから、無症状者による感染が考えられます。早期の隔離対応等にも関わらず法人全体で80名を超える集団感染へ発展し、終息までに約3週間を要する事態となりました。

10. 管理業務

予算の適正な執行と経費節減に心掛けた。障害支援区分の変更、例年並みの利用率の維持ができた。職員会議、支援会議、ケース会議等の会議の開催の他、事務部会・運営会議に参加。また、外部の会計事務所の監査を受けることで、会計の透明性を図りました。消防設備点検、浄化槽点検を行い、安全への配慮、設備の維持を行いました。4月には、雨漏りや破損を防ぐため屋根の塗装を行っています。また、災害を想定した（地震、火災）避難訓練、不審者の侵入を想定した防犯訓練を行いました。



【屋根塗装】



【防犯訓練】



【避難訓練（地震想定）】

令和4年度 愛泉園年間事業実施表

	行事等 内容	会議・研修 内容	保健衛生・検査・その他等
4月	辞令交付及び永年勤続表彰式(1日) 誕生会(17日) 行事「屋内活動」(28日)	施設長会議(1・8日) 法人運営会議(15日) さくら外部監査(25日)	利用者工賃支給(8日) 水質検査・検便検査(13日) 精神科嘱託医往診(14日) マイクロバタイヤ交換(18日) アルソックセンサー点検(20日)
	水芭蕉泉學(2日)	理事会(11日) 桜井先生により、在宅利用者へ通所へ活動、ホーム利用者はGHCで活動	利用者工賃支給(10日)
1月	新年会・誕生会(19日)	施設長会議(6・20日) 法人運営会議(13日) 外部監査報告(27日)	利用者工賃支給(10日) 水質・便検査(11日) 精神科嘱託医往診(12日) 浄化槽清掃(19日) 楽天アンテナ工事(26日) 防火点検(27日) 浄化槽点検(30日)
2月	節分(3日) ハレンタインデー(14日) 誕生会(25日)	施設長会議(9日) 防災会議(13日) 理事会(15日) 法人運営会議(17日)	新型コロナウイルス種5回目②(3日) 水質・便検査(8日) 精神科嘱託医往診(9日) 利用者工賃支給(10日) バス3ヶ月点検(17日) 楽天アンテナ電源接続工事(27日)
3月	ひなまつり(3日) ホワイデー(14日) 誕生会(28日)	施設長会議(10日) 理事会・評議員会(16日) 理事会(22日) 外部監査(23日) 法人運営会議(24日) 川治会議(27日) 外部監査報告・事務部会(28日)	水質・便検査(8日) 精神科嘱託医往診(9日) 利用者工賃支給(10日) 浄化槽点検(14日)